

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	生涯学習推進			事業番号	007-045
担当部署名	市民人権	局	市民生活	部	生涯学習

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		有	取組	生涯を通じた学びの支援			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市生涯学習基本方針（計画期間：令和4年度～令和8年度）			
3	事業開始年度	— 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	教育基本法			

#### 事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁・地域団体			
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	全市民、堺市在勤・在学者	対象数	単位	
			—	—	
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	堺市生涯学習基本方針に基づき、市民の主体的な学びを支援し、学んだ成果を活かし、社会的課題の解決や地域の活性化につながる人材の育成を進める。			
8	事業内容（目的を達成するための手段）	生涯学習の振興に係る企画及び総合調整、調査研究、関係機関等との連絡調整のほか、下記の事業を実施。 1. 生涯学習まちづくり出前講座（講座数：95講座） 2. 生涯学習サポーター養成講座 3. 生涯学習情報及び市内で活動する生涯学習団体・指導者の情報提供 4. 電話・メール等による学習相談の実施 5. 生涯学習市民活動団体（主にサポーター養成講座修了生）との協働事業 ◇生涯学習情報誌「はっと」の発行 ◇生涯学習市民講座の開催 ◇生涯学習交流まつりの開催（スプリングフェスティバル） ◇ボランティアスタッフによる学習相談			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	—			
10	公民連携・協働事業	市民活動団体との協働による生涯学習情報誌の発行や生涯学習市民講座の開催等			

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	生涯学習市民活動団体との協働事業参加者数(生涯学習市民講座・生涯学習交流まつり等)	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	2,600	3,600	4,200	5,000
			実績値	2,366	3,741		
	達成率	91%	104%				
	当該指標を選定した理由	協働のパートナーである生涯学習市民活動団体の活動状況から、市民の学びの広がりを把握できるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	新型コロナウイルスに係る規制緩和や参加者数の回復傾向を考慮し、目標値を段階的に引き上げて設定。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	生涯学習サポーター養成講座受講者数(単年度)	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	—	40	40	
			実績値	42	29		
	達成率	—	73%				
	当該指標を選定した理由	受講後の活動が、市民の生涯学習の広がりにつながることが期待されるため、令和3年度から指標として設定した。令和4年度から指標を累計から単年度に変更。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度は、平成4年～令和2年度までのサポーター養成講座修了者数（実績値累計）に定員数（40名）を合算した数値を目標値として設定していたが、達成率を適正に把握するため、令和4年度から単年度の目標値（募集定員）に変更した。					

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	生涯学習推進	事業番号	007-045
-------	--------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	2,311	743	653	575	669
13 財源内訳	国支出金		0		0
	府支出金		0		0
	市債		0		0
	その他 ( )		0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0
	一般財源	2,311	733	653	575
14 人件費 (b)	15,580	15,580	15,580	15,580	15,390
15 年間経費(c)=(a)+(b)	17,891	16,323	16,233	16,155	16,059

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
	R4	決算				R4	決算		
16 事業費内訳	謝礼金	R4	67	67	通信運搬費	R4	173	173	
		R5	90	90		R5	182	182	
	普通旅費	R4	10	10	保険料	R4	1	1	
		R5	15	15		R5	3	3	
	消耗品費	R4	104	104	その他使用料及び賃借料	R4	7	7	
		R5	110	110		R5	7	7	
食糧費	R4	1	1	研修会等参加負担金	R4	1	1		
	R5	1	1		R5	1	1		
印刷製本費	R4	211	211		R4				
	R5	260	260		R5				

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		千円	千円
17 ① 生涯学習市民活動団体との協働事業参加者数	人	2,366	3,741
② 上記①にかかる年間経費	千円	269	270
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	114	72
備考 (算出についての説明等)		生涯学習市民活動団体との協働事業において市が支出する年間経費 (人件費含む)	

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>生涯学習市民活動団体との協働事業について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部規模を縮小しての実施になったが、昨年度に比べると参加者数は増加し、単位当たりの経費も減少している。</p> <p>生涯学習サポーター養成講座については、令和3年度に引き続き、教育委員会事務局の人材育成講座と合同開催したことで、経費を抑制し、講座内容の充実を図ることができた。</p>
----	--

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>市民への学びの機会や必要な学習情報の提供、また学んだ成果を生かす取組は、「堺市基本計画2025」で示す「生涯学習の推進 (重点3 施策4 ⑥)」や、「堺市SDGs未来都市計画」の取組「生涯を通じた学びの支援」(ターゲット4.7)にも寄与している。</p> <p>生涯学習の推進は、人生を豊かで充実したものにし、学習活動をきっかけに交流を生みだすなど、地域社会の活性化や社会的課題の解決につながることを期待できる。</p>
----	---